
猫の本音をぶちまける

野間口 遊

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

猫の本音をぶちまける

【Zコード】

Z0412M

【作者名】

野間口 遊

【あらすじ】

猫のぶっちゃけた気持ちを猫に代わって、人間の作者がぶちまける、超短編猫シユールギャグ。

ここにまでは、猫です。

俺さあ、最近、飼い主が「どうしてしょうがないんだよね。

だつてよ、俺が気持ち良いく寝てんのに、突然顎を撫でてくるだせ?」

まあ、正直気持ち良いけどな……。

寝てる時にもせられても、かなりウザつたいと言つか……。

俺はぬいぐるみじやないつてのー!

あとよ、毎日同じキャットフードつづーのむ、正直飽きるんだよな。

たまにはマグロを喰わせろーーー。

毎日毎日讃味。

何? 猫には贅沢だあ?

おまえら、全く分かってねえな。

マグロつづーものはな、俺ら猫が元々食べる物なんだぞ?
分かったか?

あ? 人間なめるなつてか?

すみません。

つじやなくて、他にもいろいろあんだよ。

中でも一番言いたい事は……。

勝手に猫の肉球押すな！

突然やられて「うビッククリすんだよ、ぞーっとすんだよーーー！」

確かに、猫の肉球は押したくなるような不思議な感じはあるよ？
だけどよお、だからって押すのは……。

とにかく、これからは俺ら猫の気持ちも汲んで生活してくれよ？
人間共。

あ、はい。

調子乗つてすんませんでした、人間様……

だから餌抜きにしないでえーーー！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0412m/>

猫の本音をぶちまける

2011年2月3日00時37分発行